

アニマルウェルフェアに配慮した肥育豚の飼養管理技術の開発（R4～6）

畜産酪農技術センター

背景・目的

アニマルウェルフェア (AW: 快適性に配慮した動物の飼養管理)

5つの自由（国際的に認知された概念）

- ① 飢え、乾き及び栄養不良からの自由 ⇒ 新鮮な餌・水の提供
- ② 恐怖及び苦悩からの自由 ⇒ 心理的苦悩を避ける状況、取り扱いの確保
- ③ 物理的及び熱の不快感からの自由 ⇒ 温度や湿度等の適切な飼養環境の提供
- ④ 苦痛、傷害及び疾病からの自由 ⇒ 疾病等の予防、的確な診断と迅速な処置
- ⑤ 通常の行動様式を発現する自由 ⇒ 動物が本来の行動を取れる機会の提供

群編成時の激しい闘争

ストレス
受傷による疾病感染
発育遅延

【5つの自由②④】



外部刺激のない単調な日常

豚本来の好奇心旺盛な行動を発現できない

【5つの自由⑤】



研究内容

1年目

養豚農家へのAW実態調査

AWIに対する理解や意向状況、飼養環境についてアンケートを実施



1年目・2年目

群編成時における闘争抑制技術の検討

- ① 環境エンリッチメント資材（遊具など）の投入や避難所の設置等の効果を検討
- ② 豚の闘争行動をデータ化し、血中のストレス指標物質との関連性を検討



2年目・3年目

環境エンリッチメント資材を用いた飼養管理技術の検討

- ① 環境エンリッチメント資材を用いた飼養が豚の行動と生産性、経済性等に与える影響を調査
- ② 資材利用頻度等豚の行動をデータ化し生産性との関連性を検討



期待される効果

群編成時における激しい闘争の抑制

- ⇒ ストレスの低減（ケガの減少等）
- ⇒ 生産性の向上（発育促進等）

環境エンリッチメント資材のある飼養環境下で豚が本来持っている行動の発現

- ⇒ AWに配慮した飼養管理の向上

生産者におけるAWに対する意識の醸成

得られた行動データ等を活用し、AWに配慮した飼育方法による県産豚肉の新たな付加価値創出